

# 島根県江津市 大都神楽団

大都神楽団は、平成11年に4人で結成の後、現在約20名で活動し「森羅万象ここに現す」を理念に神楽に取り組む団体です。石見神楽の伝統演目のみならず、様々な演目に挑戦しています。10年目の年にはインド公演を行い神楽団として舞乃座の運営に力を入れ、劇場の特徴としては色鮮やかな照明使いや全身で神楽に浸れる空間など舞子のこだわりで作った劇場、「石見神楽の拠点の一つになれるように」と神楽に対し真摯に向き合い、同じ想いを持った同志たちで作り上げました。神楽の価値を高めてゆけるよう日々、稽古に励み活動し続けています。

## 演 目

**[天岩戸]** 天照大御神(あまてらすおおみかみ)が、弟・須佐之男命(すさのおのみこと)の乱暴に困り天の岩戸の中にお隠れになったので、世の中すべてが闇夜(とこやみ)となりました。そこで神々は集まって相談し、宇津女命を呼んで躍らせ、長鳴鳥(ながなきどり)を鳴かせ、不思議に思った大御神が岩戸を少し開けたところを力持ちの手力男命(たちからのおのみこと)が岩戸を開き迎え出し、再び世の中が明るくなり禍も無くなり平和が戻りました。天宇津女命の岩戸の前での舞いが神楽の起源であるといわれ、石見神楽の中でも特に神聖な演目とされています。

**[八岐大蛇]** 須佐之男命(すさのおのみこと)が出雲の国・斐の川にさしかかると、娘を大蛇に食べられてしまうという老夫婦に出会います。そこで命は老夫婦に毒酒を作らせ、これを大蛇が飲んで酔った所を退治し、稲田姫と結ばれました。この時、大蛇の尾から出た剣は、天の村雲の剣(あめのむらくものつるぎ)《のちの草薙の剣(くさなぎのつるぎ)》として三種の神器の一つとし、熱田神宮に祀られています。

## ブラジル音楽マトリックス <http://www.matrixsamba.com>

2008年12月バンド結成。今年で15年目を迎えます。メンバーは太子町・たつの市・姫路市在住の地元ミュージシャンでブラジル音楽を基調にさらに個々の個性をブレンドした独自の演奏を奏でます。アコースティックライブから本場ブラジル人サンバダンサーと本格的なりオのカーニバルパレードも行う。活動範囲は、関西から関東まで幅広く、2018年5月神戸まつりサンバストリートオープニング出場、2023年11月世界遺産姫路お城祭り記念パレード出場、また、姫路市民プールフィナーレ、姫路市夜桜動画、ユニセフ等オリジナル曲を制作。ボサノヴァやブラジルの名曲から和のオリジナル曲までお届けします。

ヴォーカル原田れい子 / ギター伊藤淳介 / ベース佐伯直紀 / ドラム田中宏昭 / ヴァイオリン野々瀬玲子 / カヴァキーニョ&パンデイロ白井翔太郎 / 7弦ギター高田泰久

### 松崎晟山(尺八) 新福かな(箏)

松崎晟山(まつざきせいざん) 新福かな(しんぷくかな) 夫婦ともに東京藝術大学卒業、大学院修了。2001年より「和楽器オーケストラあいおい」を主宰し、東京を中心に全国各地のホールでコンサートを開催する他、文化庁「地域における子供たちの伝統文化の体験事業」や、「学校巡回公演」に採択され、邦楽の普及活動にも励む。2021年姫路市で音楽教室「和'on Music Studio」を運営。姫路文連黒川録朗賞、姫路市芸術文化賞をそれぞれ受賞。

演目：山本邦山作曲【壱越】

昔は、島根から石海(石見)の里へ稲の開墾の為、大勢の人々が招かれた。そんな繋がりのある島根県と揖保郡太子町～古き良き時代へタイムスリップしましょう!!

※ 小学生以下は、無料ですが、無料チケットが無い場合は、入場出来ません。

※ 天災等やむを得ない事由で中止又は、出演出来ない場合もあります。